

学校教育目標 ○自ら学び、考える子○心豊かで、思いやりのある子○たくましく生きる元気な子



春日部市立江戸川小中学校
学校だより1月号
令和3年1月12日
児童生徒数 190名

江戸川小中学校ホームページ <https://schit.net/kasukabe/edogawa/>

小さな1歩から着実な前進へ

校長 小林 学

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、コロナ禍の中でしたが、江戸川小中学校は2年目を迎え、子供・職員が「笑顔輝く学校」を合い言葉に、授業・学校行事・部活動等において、江戸川小中学校ならではの教育活動を大事にしながら教育を進めて参りました。保護者や地域の皆様方の深いご理解のもと、ご協力をいただき、教職員一同、心より感謝申し上げます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

子供たちは、県なわとび選手権（インターネット申請による）では1位や多くの入賞、陸上部の県大会出場、駅伝の取組、等々がありました。美術展、読書感想文、税の標語、各種応募作品展などでも、それぞれがアイデアを練り、ひたむきにチャレンジをし、活躍の場を多くいただくことができました。合奏での音楽会などの学校行事、地域の皆様のお力をお借りしてのオンラインによる社会体験チャレンジ事業や5年生でのヒラメ養殖を通じた「いのちの授業」の実施などでも、大きな成果を上げることができました。また、目立たないがコツコツ努力する、あるいは人の役に立つ活動をした子供が多くいました。多くの皆様方のお力添えによって成し遂げることが出来たこと、改めて感謝申し上げます。

本年も、日々の授業・学校行事・部活動をはじめ、様々な場面をとおして、子供一人一人のよさを伸ばし、意欲を育み、「笑顔輝く学校」の実現に向けて、全職員それぞれの持ち味を生かしながら、教育活動を積極的に推進して参ります。どうぞ昨年にも増してご理解、ご協力、ご支援賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

新しい出発の兆し

2021年は、丑年。十干と十二支の組み合わせから、「辛丑（かのとうし）」の年、当たり前を地道にやると道が開ける年だそうです。

「辛」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」。

「丑」は「種から芽が出ようとする状態」。

それぞれ、「新しくなろうとしている」「芽を出そうとしている」という意味があります。新しい出発の兆しを感じます。

さて、ウシは古くから、酪農や農業と人々の生活に欠かせない大切な動物でした。大変な農作業を忍耐強くコツコツ手伝う様子から、丑年は「我慢（耐える）」「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になるとも言われています。また、「紐」という字に「丑」が使われることから、何かを結びつける、つなぐ、つかみ取るといった意味が込められ、豊かさをもたらす縁起のいい動物とされています。

1月行事予定

1	金	元日	冬季休業日
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	始業式 下校 17:00	
9	土		
10	日		
11	月	成人の日	
12	火	B日課 給食開始 前期身体測定	
13	水	9年生三者面談 7・9年身体測定	
14	木	9年生三者面談 8年身体測定	
15	金	9年生三者面談	
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木	B日課（ミドル・ハイ） 専門委員会	
22	金	教育相談日	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水	学力テスト（1～6年）	
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

児童・生徒会本部役員選挙



児童・生徒会本部役員選挙が1月27日に行われました。立候補者と推薦者の演説後、投票が行われました。堂々とした立候補者の態度、一人一人が責任をもって一票。全員でより良い学校にしていこうという気持ちが伝わってきました。

リモート社会体験学習



1月20日（金）、イオンモール春日部さん協力のもと、7年生がリモートによる社会体験学習を行いました。ZOOMを使って、生徒一人一人が5つの業種の方に、仕事の楽しさや大変さ、やりがいなどをインタビューしました。

世界に一つだけの凧ができました



前期課程の児童が、江戸川小中学校の特色ある教育活動の1つである「凧作り」をしました。春日部市「庄和大凧文化保存会」の皆様にご指導いただき、学年に応じて、それぞれの凧を作りました。思い思いの絵を描き、「世界に一つだけの凧」ができました。※裏面にも関連写真等があります。

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

江戸川小中学校職員一同